# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日


上場会社名　新京成電鉄株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9014　URL　http://www.shinkeisei.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 片岡　遼一
問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計資金担当課長　(氏名) 吉川　邦彦　TEL 047-389-1124

四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 9,747 | △2.4 | 1,728 | 11.3 | 1,622 | 13.5 | 975 | 27.3 |
| 23年3月期第2四半期 | 9,983 | △0.1 | 1,553 | △7.8 | 1,429 | △6.8 | 765 | △17.6 |

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　1,079百万円　(78.1%)　23年3月期第2四半期　606百万円　(—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 17.75 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 13.93 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 63,972 | 25,597 | 40.0 |
| 23年3月期 | 64,716 | 24,655 | 38.1 |

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　25,597百万円　23年3月期　24,655百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 2.50 | — | 2.50 | 5.00 |
| 24年3月期 | — | 2.50 | | | |
| 24年3月期(予想) | | | — | 2.50 | 5.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,542 | △1.5 | 2,792 | 7.1 | 2,652 | 4.2 | 1,547 | 16.6 | 28.17 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 55,116,142 株 | 23年3月期 | 55,116,142 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 170,235 株 | 23年3月期 | 170,118 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 54,945,341 株 | 23年3月期2Q | 55,000,235 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年5月9日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災等の影響による個人消費や企業活動の低迷が徐々に回復してきたものの、海外景気の停滞懸念や失業率が高水準にあるなど、依然として先行き不透明なまま推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制のさらなる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに経営基盤の強化並びに効率化に努めました。

その結果、営業収益は9,747百万円（前年同期比2.4％減　235百万円）、営業利益は1,728百万円（前年同期比11.3％増　175百万円）、経常利益は1,622百万円（前年同期比13.5％増　193百万円）、四半期純利益は975百万円（前年同期比27.3％増　209百万円）となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

運輸業

鉄道事業では、東日本大震災に伴う電力規制の影響により、列車の間引き運行等を実施してまいりましたが、６月27日より、従来のダイヤと同等の運行本数に戻し、利便性の確保を図りました。

７月１日の電力使用制限令発令に伴い、駅施設及び車両の照明の一部消灯や電力規制時間帯における列車の最高速度抑制など、電力消費の削減を実施いたしました。電力使用制限令が９月９日に解除され、翌10日から京成千葉線への直通運転を再開するなど、従来のダイヤに完全復旧いたしました。このほか、同震災に係る駅施設等の補修工事を実施いたしました。

諸施設のバリアフリー化につきましては、八柱駅ほか１駅のエレベーター設置工事に着手しましたほか、高根木戸駅のホーム嵩上げ工事を実施いたしました。

旅客サービスにかかる一層の向上策として、車両に自動放送装置の設置及び駅務機器の機能向上を図り代替をすすめました。

安全輸送確保の取り組みとして、車両に「運転士異常時列車停止装置」の設置及び戸閉保安装置の更新工事をすすめましたほか、踏切事故防止を図るなど、諸施設の新設・更新工事を実施いたしました。

鎌ケ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、引き続き早期完成を目指し工事をすすめております。

営業面につきましては、沿線健康ハイキングを実施しましたのをはじめ、行楽施設の前売券や企画入場券の発売を行い、旅客誘致並びに増収対策に努めました。

バス事業の一般乗合輸送につきましては、環境や高齢者などに配慮した車両への代替を７両実施いたしました。このほか、利便性の向上及び効率的な輸送を図るため、ダイヤを改正いたしました。

営業面につきましては、旅客誘致並びに増収に向けた継続施策として特殊割引定期券を各種発売いたしました。

特定輸送につきましては、松戸新京成バス株式会社が大学の学生輸送を受注し、安定収入の確保に努めました。

以上の結果、営業収益は7,751百万円（前年同期比1.6％減　129百万円）となりましたものの、営業利益は固定資産除却費・動力費等が減少したこともあり901百万円（前年同期比16.7％増　128百万円）となりました。

不動産業

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の向上に努めました。

また、薬園台駅ビルなど賃貸施設の保全工事及び東日本大震災に係る補修工事を実施いたしました。

新規賃貸施設として９月に（仮称）新京成北習志野駅ビルの建設工事に着手し、平成24年度第２四半期の竣工を目指し工事を進めております。

以上の結果、営業収益は分譲土地の販売が減少したこともあり1,587百万円（前年同期比5.3％減　88百万円）となりましたものの、営業利益は805百万円（前年同期比5.7％増　43百万円）となりました。

その他

駅売店業等では、飲料自動販売機の電子マネー対応・増設に取り組みましたほか、駅臨時売店の拡充に努めましたが、売上の減少傾向に歯止めがかからず、厳しい経営環境の中での営業活動になりました。

以上の結果、営業収益は493百万円（前年同期比3.5％減　17百万円）となりましたものの、営業利益は営業費用の減少もあり８百万円（前年同期比77.9％増　３百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、建設仮勘定の増加等がありましたものの、減価償却による有形固定資産の減少、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末に比べ743百万円（前期比1.1％減）減少し、63,972百万円となりました。

負債は、前受金の増加等がありましたものの、未払金、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,685百万円（前期比4.2％減）減少し、38,375百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ941百万円（前期比3.8％増）増加し、25,597百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、東日本大震災の影響を含めた第２四半期連結累計期間までの実績を踏まえ、第３四半期以降の旅客動向を見直したうえで平成23年５月９日発表の予想数値を変更しております。

営業収益につきましては、運輸業において特に第２四半期までに震災影響により鉄道及びバス輸送人員が減少したこと等で19,542百万円（前回予想比2.0％減）を見込んでおります。

営業利益につきましては、営業収益の減収に対応して諸経費の削減を図ることもあり2,792百万円（前回予想比2.8％増）を見込んでおります。

経常利益につきましては、支払利息が減少すること等により2,652百万円（前回予想比4.1％増）、当期純利益につきましては、特別損失で年金制度の移行に伴う終了損失等を計上するため1,547百万円（前回予想比5.1％減）を見込んでおります。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,125,772 | 2,985,699 |
| 売掛金 | 907,167 | 969,044 |
| 商品及び製品 | 40,757 | 20,285 |
| 分譲土地建物 | 2,967,513 | 2,967,513 |
| 原材料及び貯蔵品 | 254,411 | 260,400 |
| 繰延税金資産 | 283,363 | 282,241 |
| その他 | 257,454 | 132,293 |
| 流動資産合計 | 7,836,439 | 7,617,478 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 21,420,078 | 20,885,204 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 5,438,747 | 5,025,589 |
| 土地 | 9,338,312 | 9,338,211 |
| 建設仮勘定 | 14,846,279 | 15,470,281 |
| その他（純額） | 1,248,908 | 1,051,630 |
| 有形固定資産合計 | 52,292,327 | 51,770,917 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 260,982 | 209,442 |
| 無形固定資産合計 | 260,982 | 209,442 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,710,625 | 3,822,962 |
| 繰延税金資産 | 429,541 | 399,290 |
| その他 | 186,198 | 152,741 |
| 投資その他の資産合計 | 4,326,364 | 4,374,995 |
| 固定資産合計 | 56,879,675 | 56,355,355 |
| 資産合計 | 64,716,114 | 63,972,833 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 886,431 | 667,631 |
| 短期借入金 | 3,923,600 | 3,898,960 |
| 未払金 | 2,696,044 | 415,487 |
| 未払法人税等 | 571,995 | 699,189 |
| 前受金 | 11,773,391 | 13,178,105 |
| 賞与引当金 | 436,518 | 445,662 |
| 災害損失引当金 | 59,359 | 21,704 |
| その他 | 2,077,145 | 2,352,927 |
| 流動負債合計 | 22,424,486 | 21,679,667 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 12,565,630 | 11,623,570 |
| 退職給付引当金 | 2,450,305 | 2,506,809 |
| その他 | 2,620,355 | 2,565,589 |
| 固定負債合計 | 17,636,291 | 16,695,969 |
| 負債合計 | 40,060,777 | 38,375,636 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,935,940 | 5,935,940 |
| 資本剰余金 | 4,774,561 | 4,774,526 |
| 利益剰余金 | 13,124,213 | 13,962,008 |
| 自己株式 | △62,707 | △62,708 |
| 株主資本合計 | 23,772,007 | 24,609,766 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 883,329 | 987,429 |
| その他の包括利益累計額合計 | 883,329 | 987,429 |
| 純資産合計 | 24,655,336 | 25,597,196 |
| 負債純資産合計 | 64,716,114 | 63,972,833 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業収益 | 9,983,039 | 9,747,399 |
| 営業費 | | |
| 運輸業等営業費及び売上原価 | 7,830,400 | 7,470,132 |
| 販売費及び一般管理費 | 599,412 | 548,884 |
| 営業費合計 | 8,429,813 | 8,019,017 |
| 営業利益 | 1,553,226 | 1,728,381 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 657 | 312 |
| 受取配当金 | 30,592 | 26,012 |
| 持分法による投資利益 | 6,128 | 2,330 |
| その他 | 24,515 | 36,338 |
| 営業外収益合計 | 61,893 | 64,993 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 184,100 | 164,620 |
| その他 | 1,353 | 6,032 |
| 営業外費用合計 | 185,454 | 170,653 |
| 経常利益 | 1,429,665 | 1,622,721 |
| 特別利益 | | |
| 工事負担金等受入額 | － | 48,134 |
| 特別利益合計 | － | 48,134 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産圧縮損 | － | 48,134 |
| 投資有価証券評価損 | － | 23,270 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 91,666 | － |
| バス共通カード未使用額精算 | 18,352 | － |
| 特別損失合計 | 110,019 | 71,404 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,319,646 | 1,599,451 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 622,479 | 670,561 |
| 法人税等調整額 | △68,732 | △46,270 |
| 法人税等合計 | 553,746 | 624,290 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 765,899 | 975,160 |
| 四半期純利益 | 765,899 | 975,160 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 765,899 | 975,160 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △160,196 | 102,098 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 369 | 2,002 |
| その他の包括利益合計 | △159,827 | 104,100 |
| 四半期包括利益 | 606,072 | 1,079,261 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 606,072 | 1,079,261 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | ― | ― |

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 運輸業 | 不動産業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 7,881,073 | 1,644,123 | 9,525,196 | 457,842 | 9,983,039 | ― | 9,983,039 |
| セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 270 | 31,959 | 32,229 | 53,157 | 85,387 | △85,387 | ― |
| 計 | 7,881,343 | 1,676,082 | 9,557,425 | 511,000 | 10,068,426 | △85,387 | 9,983,039 |
| セグメント利益 | 772,655 | 761,526 | 1,534,181 | 4,706 | 1,538,888 | 14,338 | 1,553,226 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駅売店業等であります。

２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 運輸業 | 不動産業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 7,751,376 | 1,557,443 | 9,308,820 | 438,579 | 9,747,399 | ― | 9,747,399 |
| セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 344 | 30,031 | 30,375 | 54,644 | 85,019 | △85,019 | ― |
| 計 | 7,751,721 | 1,587,474 | 9,339,195 | 493,223 | 9,832,419 | △85,019 | 9,747,399 |
| セグメント利益 | 901,623 | 805,155 | 1,706,779 | 8,372 | 1,715,151 | 13,230 | 1,728,381 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駅売店業等であります。

２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。